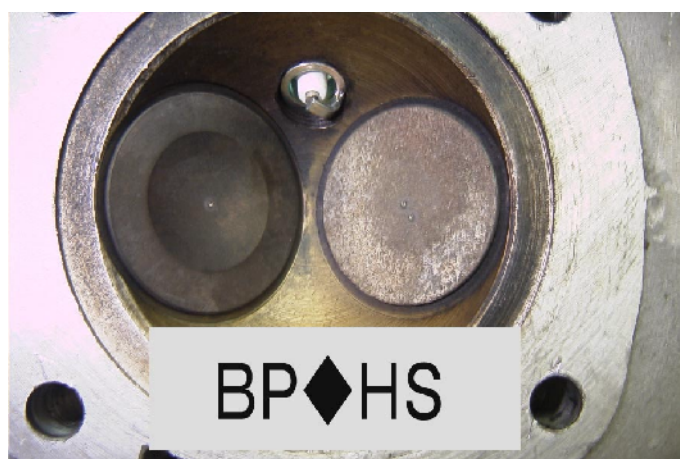
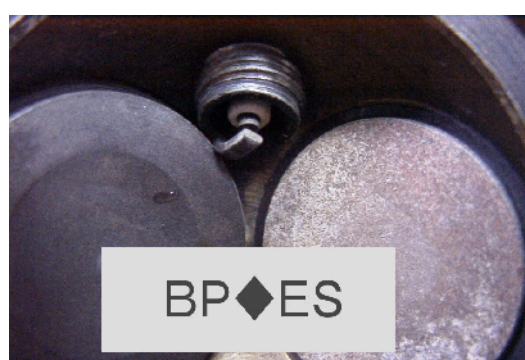
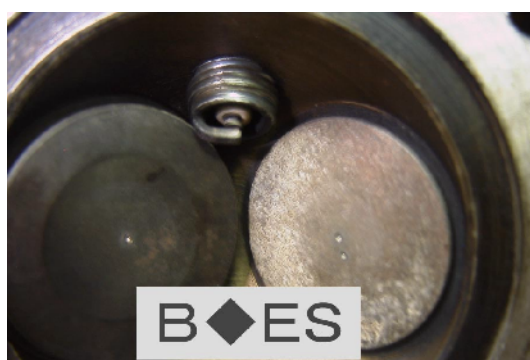


点火プラグの選定ミス

URAL 650 / 750 で使われている点火プラグはショートリーチ型と呼ばれるものです。たとえば、B7HSなどは1980年代頃まで小排気量の2サイクルモデル用などで一般的でした。軽自動車にも使われていたため何処のホームセンターにも2本パックや4本パックで販売されていました。しかし近年、2サイクルモデルが無くなり、また車両の品質向上によりプラグ交換をする機会がなくなりホームセンターではプラグ自体の販売も怪しくなってきました。カーショップでも付加価値の高いイリジウムなど高価な商品しか扱わなくなって来たように感じます。

うる覚えで購入したり、ガレージの片隅にあったようなプラグを考えなしに取り付けると時として大きな出費を強いられることとなります。偶々、圧縮上死点でロングリーチのプラグを取り付けるような場合はピストンヘッドにプラグの電極が当たり根元まで入らないで間違いに気付くラッキーな場合もありますが傘径の大きな吸気バルブが当たりバルブステムを曲げてしまったり、運が悪ければ吸排気とも、もっと運が無ければ左右の吸排気バルブとも損傷を受けることになりかねません。

メーカーで完全互換と言っているBPR7HSなどの抵抗入りレジスタープラグはURALのような低中速重視の大排気量モデルには相性が悪く、アイドル不調、出力低下の原因になります。



クリメカお奨めプラグタイプ B P 7 H S